

環境のひろば

発行者／岡山県環境衛生協会
会長 笠原金剛

題字／岡山県知事 伊原木隆太

ふるさとを
きれいに
しましょう

この広報誌は“ふるさとをきれいにする運動”を推進するために配布しております。

平成30年7月豪雨災害によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

岡山県環境衛生協会



循環と共生

吉備中央町環境衛生協議会

色鮮やかな青い羽で大空を舞う美しい姿から、“森の宝石”と呼ばれる美しい鳥「ブッポウソウ」。ブッポウソウは全長約30cmであり、吉備中央町は日本有数のブッポウソウ飛来地です。主に東南アジアの熱帯地方に生息し、5月になると日本にやってきて夏の間子育てを行います。ブッポウソウは個体数が減少しており、環境省の絶滅危惧種に指定されていますが、吉備中央町の美しい環境が適しているため、今年も遠く東南アジアから飛来し

ました。

この美しい環境を守るため、吉備中央町環境衛生協議会では不法投棄防止活動を重点的に行っており、不法投棄防止ネットの設置、監視パトロール、クリーン作戦等を実施しています。今年度は11月27日から12月14日を不法投棄監視パトロール実施期間とし、この期間中にクリーン作戦等の活動を予定しています。

希少野生動物である、ブッポウソウと“共生”できる環境保全活動に今後も取り組みたいと思います。

支部だより

井笠
支部

マイバッグ持参運動の推進

浅口市環境衛生協議会

毎月10日はノーレジ袋デーです。岡山県が行ったマイバッグ持参率等のアンケート調査では、平成29年度のマイバッグ持参率は48.0%で、平成28年度の46.4%に比べると、1.6%増加しました。

例年、浅口市環境衛生協議会では6月と11月の年2回、マイバッグ持参運動の一環として啓発活動を行っています。6月は、市内6箇所にて買い物客や通行者に、啓発用のチラシとティッシュ、エコバッグを配り、マイバッグ持参運動への協力をお願いしました。レジ袋は、国民1人あたり年間300枚を消費していると言われており、浅口市全体では、1年間で約1,000万枚の計算になります。このレジ袋は、お店で買い物したものを自宅へ持ち運ぶだけの利用で、そのまま捨てられるものも多いようです。

レジ袋を削減することは、ごみを減量し、焼却施設や最終処分場への負荷を少なくするとともに、貴重な石油資源の節約となり、ひいては地球温暖化防止につながる取組の第一歩です。今後も浅口市環境衛生協議会ではマイバッグ持参運動を推進し、環境に優しいまちづくりを進めていきたいと考えています。

東備
支部

市内一斉清掃

赤磐市環境衛生推進協議会

赤磐市環境衛生推進協議会では、毎年9月の第1日曜日に「市内一斉清掃」を実施しています。

今年は9月2日（日）の早朝に1時間程度、市内の道路・公園などに捨てられたごみを拾い、指定の集積場所に持ち寄りました。集まったごみは分別した後、行政が収集しました。今回は、可燃ごみ約2トン、不燃ごみ約1トンを集めることができました。

市内一斉清掃は、自分たちの住む町を自分たちの手できれいにしようという気持ちを持つ多くの地区・町内会・清掃ボランティア団体の方に支えられ、今回で13回目となりました。市民の間では定例行事として定着し、多くの方が積極的に清掃活動に参加しています。

今後も環境美化や環境保全に対する意識がより一層高まるよう一斉清掃を継続していきたいと思っています。



真庭
支部

環境パトロールの実施

真庭市勝山地区環境衛生協議会

真庭市勝山地区は、真庭市の中部に位置しており、日本の滝百選に選ばれた神庭の滝や城下町のたたずまいを残す古い町並みで知られ、毎年多くの観光客の方々に訪れていただいております。当協議会も、おもてなしの心を込めて環境美化に努めているところです。

紅葉シーズンの11月には「環境パトロール月間」として不法投棄の多い箇所をチェックし、不法投棄防止啓発看板の設置や、不法投棄されたごみの回収を行っています。昨年は、地区内の主要道路沿いについて協議会委員20名と市職員が、パトロール活動を行い、ポイ捨てされた缶・ビン・ペットボトル・弁当殻など約500kgのごみを回収しました。年々投棄されるごみ量は減ってきており、活動の

手ごたえを感じています。

今後も、この活動を継続し、不法投棄の撲滅に努めていきたいと思っています。

高梁
支部

ごみ減量化キャンペーン

高梁市環境衛生協議会

高梁市環境衛生協議会では、6月の環境月間に合わせ、高梁市との共催で「ごみ減量化キャンペーン」を実施しています。

キャンペーンの取組として、5月28日から7月2日までの間、市内5か所で「ごみ減量化パネル展」を開催しました。ごみの現状と課題、生ごみの水切り、新たに資源回収を始める雑紙（ざつがみ）、ごみの分別方法などに関するパネルを展示し、ごみの減量化・資源化の重要性について広く啓発したところです。

その他には、6月8日に市内2か所で「マイバッグキャンペーン」を実施し、マイバッグ持参を呼びかけました。ごみとなるレジ袋を無料だからと

いって受け取るのではなく、マイバッグでの買い物習慣にすることは、身近で誰にでも取り組めるものと思います。

今後もこうした啓発活動を続けていくことで、3Rに関する理解を深めるとともに、循環型社会の形成に向けた取組をより一層推進していきたいと考えています。



岡山市
支部西大寺地区
環境衛生協議会について

会長 久山 雅夫

当協議会は、11の小學校区で構成され、196の単位組合で成り立っております。5月の総会に始まり、年数回の役員会及び常任理事会を開催し、年間行事についての取り決めや現状の問題点等を協議しております。年一度の組合員及び組合長研修（80名ほど）、常任理事研修（20名ほど）では各地の工場見学や施設での研修を行い、環境衛生に関する知識を深めております。毎年行き先をどうするかが頭の痛いところです。環境美化クリーン作戦での仕分け作業や資料の配付・回覧等も大事な作業です。また、地区協議会長表彰、市や県への表彰者の推薦等も大事な仕事です。岡山市環境衛生大会や、備前ブロック研修会・全国大会への参加へは出来るだけ多くの理事に出席をお願いしています。年一回の西大寺地区発行の冊子「環境の窓」には、地区だよりや、研修レポート等の記事を掲載しています。犬の糞放置

防止の看板・立て札の配布や、不法投棄防止の旗は200枚程制作し、希望組合に配布致しました。

今後も継続事業として取り組んでいきたいと思えます。今年度新たな取り組みとして、講演会を開催したいと思っています。まだまだやりたい事業は多くありますが、なかなか計画と現実がうまく噛み合いません。今後の課題だと思っています。



提言箱

小さなことを継続することの大切さ

鏡野町環境衛生委員会

私たち人間が、豊かな暮らしを手に入れることで、地球に負担をかけています。

私たち人間は、自らの暮らしを守るためには、地球を守っていかなければなりません。

鏡野町環境衛生委員会では、それぞれの地域の環境を良くするために、その地域に根付いた活動を大切にし、川や道の清掃活動、集会所の花植え、ごみの分別など日々様々な活動を行っております。地球からすれば、微々たる活動かもしれませんが、小さな活動を1人、2人、3人と広げていくことで、集落、地区、町、いずれは、世界的な活動となって、地球を助けることが出来ると思います。

当委員会では、大きな事はできませんが、大人から子どもまで様々な方に協力をいただきながら、住みよい地域、住みよい町、ひいては、住みよい地球を子から孫からひ孫へと子孫へ繋いでいくためにコツコツとみんなで続けていきます。皆さんも、ごみの分別、3R、マイバッグ持参、環境保全などの活動を継続していきましょう。



鏡野町公認マスコットキャラクター
みずりん・おゆりん

環境豆知識

オオサンショウウオと人工巢穴

広報委員 松本 国夫

真庭市の湯原・蒜山地区は、明治期から東京の研究者がオオサンショウウオの調査に入るなど注目されていたこともあり、昭和2年にオオサンショウウオ生息地が国の天然記念物となっています。昭和27年には、個体そのものを国の特別天然記念物に定め文化財保護法により厳重に保護しています。

このため、河川の改修や災害復旧工事などの施工時に人工巢穴の設置をおよそ20mごとに環境保全型ブロックと併用して設置しています。

近年、外来種との雑種が問題となっていますが、岡山県の文化財課が中心となり県下の河川の水を採取し調査した結果、今までのところ旭川水系は問題ないとのことでした。

オオサンショウウオは、人間が作った環境を利用して人間と共存してきた生き物ですが、近年、多量の土砂流出により下流へ流されています。逆に河川の人工落差では遡上しがづらくなっており、保護していくために多くの関係者の協力が必要となっています。



ごみ拾いを「見える化」?! ～晴れの国クリーンアップおかやま～

岡山県環境文化部循環型社会推進課

皆さんにとって「ごみ拾い」とはどんなイメージですか？

一人でこつこつと、ひたむきに……。そんなイメージがありませんか？

岡山県は、ウェブページ「晴れの国クリーンアップおかやま」でそのイメージを変えていきます！

ごみを拾って、スマホで撮影、アップロードして、岡山県内のどこで、誰が、どんなごみを拾っているのか「見える化」するウェブページ、それが「晴れの国クリーンアップおかやま」です。自分のごみ拾い活動をみんなに知ってもらい、共有しましょう！

個人での参加はもちろん、企業、団体の方の参加も可能です。皆様のご参加をお待ちしております。



ごみを拾う



写真を撮る



投稿する

詳しくは
こちら⇒



晴れの国クリーンアップおかやま

検索

平成30年度 定例総会を開催

平成30年度の定例総会を5月30日に「ピュアリティまきび」で開催しました。

来賓として、川崎雅貴環境省中国四国地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課長、佐藤兼郎副知事、小林健二環境文化部長を迎え、盛大に開催されました。平成29年度事業実績・決算、平成30年度事業計画・予算、役員の選任について審議し、承認されました。

また、議事に先立ち、環境衛生改善活動に多大の功績があった団体、個人に対し、表彰状及び記念品の贈呈を行いました。

岡山県知事表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

・下日近町内会 (岡山市)

・真星町内会 (岡山市)

◆環境衛生改善事業功労・個人

樋口 正信 (岡山市)	久志 彰三 (玉野市)	龍石 好美 (岡山市)	近藤 康文 (岡山市)	田中 重孝 (岡山市)
岡田 章 (岡山市)	北村 二郎 (倉敷市)	柏原 英三 (浅口市)	藤原 猛 (井原市)	石井 悦子 (倉敷市)
藤原 勝稔 (倉敷市)	塩田 文子 (倉敷市)	江口喜代子 (倉敷市)		

◆清掃事業功労

松崎 稔 (和気町)	長谷川善人 (笠岡市)	中務 英二 (浅口市)	柏野 静雄 (倉敷市)	田中 義信 (倉敷市)
------------	-------------	-------------	-------------	-------------

岡山県環境文化部長表彰

◆環境衛生改善事業功労・個人

曾我 勝晴 (玉野市)	藤原 勝利 (玉野市)	柏原 秀樹 (浅口市)	小野 貢 (倉敷市)	徳森 勝造 (高梁市)
松原 操 (倉敷市)	佐々木信子 (倉敷市)	直原 美雪 (倉敷市)	美山 尚徳 (里庄町)	北山 政士 (鏡野町)

◆清掃事業功労

高本 数間 (岡山市)	藤井 義正 (岡山市)	松尾 慎史 (岡山市)	石井 順児 (岡山市)	友次 宏二 (岡山市)
西岡 道一 (倉敷市)	西井 一 (笠岡市)	滝口 久晴 (高梁市)	村上 和昌 (新見市)	風早 秀義 (総社市)
高平 雅文 (倉敷市)	佐藤 敏彦 (井原市)	河原 保 (高梁市)	石原 臣祐 (鏡野町)	

岡山県環境衛生協会長表彰 (支部名)

◆環境衛生改善優良地区

・栢谷紅葉クラブ (岡山市)
・西水砂 妻の会 (井 笠)
・鏡野町立香々美小学校PTA (津 山)

・杉谷町内会 (岡山市)
・領家環境衛生組合 (高 梁)
・中谷地区資源ごみ促進会 (津 山)

◆環境衛生改善地区育成功労

藤原 定 (岡 山)	向野 宏治 (岡 山)	畑田 康夫 (岡 山)	永間 正昭 (岡 山)	三宅 宅三 (岡 山)
宮木 武男 (岡山市)	森安 創 (岡山市)	難波 克碩 (岡山市)	岡 哲也 (岡山市)	宇野 忠彦 (岡山市)
重松 俊輔 (岡山市)	沼本 孝子 (岡山市)	川西 祝雄 (岡山市)	三宅 昇 (岡山市)	岡本 茂 (岡山市)
松嶋 一郎 (岡山市)	小山 満雄 (倉敷市)	古谷 敏郎 (倉敷市)	井川 博之 (倉敷市)	中務八重子 (倉敷市)
森本 臣男 (倉敷市)	守屋 章 (倉敷市)	中村 俊明 (倉敷市)	花巻美津子 (倉敷市)	浅原 順一 (倉敷市)
三原 太郎 (井 笠)	熊原 由枝 (井 笠)	瀬良 好正 (井 笠)	西澤 純一 (井 笠)	岡崎 睦子 (井 笠)
小野 利公 (井 笠)	村澤江美子 (新 見)	埜 俊二 (新 見)	近藤 和夫 (真 庭)	瀬島 矢一 (真 庭)
大倉 正喜 (津 山)	池田 京一 (津 山)	石原 賢 (津 山)	近藤 信彦 (津 山)	久光 博志 (津 山)
岸本 正二 (津 山)	山中 正和 (津 山)	直原 竣一 (津 山)	切明 賢二 (津 山)	杉山 秀義 (津 山)
鳥越 雅光 (津 山)	大倉 香織 (津 山)	江見 喜徳 (勝 英)		

◆清掃業務従事功労

大賀 健一 (岡 山)	三宅 伸昭 (岡 山)	荒内 良浩 (東 備)	竹内 貴紫 (東 備)	八幡 章彦 (東 備)
中本 勝 (倉敷市)	白神 正 (倉敷市)	西原 博晃 (井 笠)	川上 節男 (井 笠)	江草 勇 (井 笠)
古賀 政彦 (井 笠)				

(以上、敬称略)

■ 専門委員会の活動報告

第1回広報委員会 平成30年9月5日(水) 15:00～16:30

広報委員会では、機関誌「環境のひろば」の第213号の発行について議論しました。各地区での取組をはじめとした環境に関する記事を掲載することとなりました。

第2回広報委員会 平成30年10月4日(木) 13:30～15:00

各支部等が執筆した機関誌「環境のひろば」第213号の原稿の確認を行いました。

広報委員

委員長 杉 秀樹 副委員長 福井 孝子
委員 二宮万太郎 五島 榮二 山本 光夫 高木 早苗 松本 国夫

第1回環境保全委員会 平成30年9月7日(金) 10:30～12:00

環境保全委員会では、今年度の役員研修会の開催内容について議論しました。今年度は視察を行うことになりました。多くの県協会理事にご参加いただき、有意義な研修にしたいと思います。

環境保全委員

委員長 森安 創 副委員長 久山 雅生
委員 濱田 久子 松本 正志 石井 悦子 出口 祥三 手塚 幸恵

第1回リサイクル推進委員会 平成30年9月7日(金) 13:00～14:30

リサイクル推進委員会では、マイバッグの普及啓発について議論しました。県内全域でのマイバッグ配布を実施することとなりました。

リサイクル推進委員

委員長 小椋 邦子 副委員長 横田 徹
委員 熊代 勉 今中 慶一 守長 君子 野田 健一 平川二美子

都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト

岡山県環境文化部循環型社会推進課

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京2020組織委員会）は、東京2020大会で使用するメダル、金・銀・銅あわせて約5,000個について、使用済み携帯電話等の小型家電から抽出された金属で製作する「都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト」を実施しています。

オリンピック・パラリンピックのメダル製作を目的に、国民参加型で小型家電を回収し、リサイクルを行うことは史上初の試みです。

岡山県では、県内全ての市町村がこのプロジェクトに参加しており、使用済みの携帯電話やスマートフォン、デジタルカメラ、パソコン、ゲーム機等の小型家電の回収を行っています。回収している品目や方法は市町村によって異なるため、お住まいの市町村に確認してください。

循環型社会を構築し、次世代へつなげるため、東京2020組織委員会やプロジェクト参加事業者である株式会社NTTドコモ、一般財団法人日本環境衛生センター、環境省、東京都と一緒に、岡山県も積極的に推進していきます。

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。

地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動、マイバッグ推進運動等へのご支援をお願いします。1口1万2千円で、1口から入会できます。

編集後記

つい最近の報道で話題となっている、河川、海へ流入する「プラスチック製品」由来のごみ削減に向けて、プラスチック製品の紙製代替品への切り替えなど様々な取組が行われようとしています。

私の住んでいる岡山市北区御津地区でも住民みんな、河川のごみ問題や農業用水の汚染には特に注意を払ってきました。

毎年6月には宇甘西地区で「宇甘西ホタルまつり」が開催され、ゲンジホタルを見ようと大勢の人が来られます。ホタルの生息は、河川がきれいな証拠であり、農家も美味しい米、野菜の栽培に精が出ます。

また、年末に行われる御津地区一斉クリーン作戦への積極的な参加と河川の清掃に努力することで、今まで以上に住民みんなで田舎の良さを保っていきたいと思います。



清掃後の九谷川

広報委員 二宮 万太郎



広報委員

委員長 杉 秀樹 副委員長 福井 孝子

委員 二宮万太郎 五島 榮二 山本 光夫 高木 早苗 松本 国夫

地域環境の保全・創造に

貢献する地域で

最も必要とされる組織へ



公益財団法人

岡山県環境保全事業団

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
TEL (086) 298-2122 (代)
FAX (086) 298-2496

有害な生物防除のプロ集団

カ・ハエ・ゴキブリ
ノミ・ねずみ・ハチ等の防除

一般社団法人

岡山県ペストコントロール協会

〒701-0152 岡山市北区延友454
電話 086-293-5990

“生活排水の処理は浄化槽で”

一般社団法人

岡山県浄化槽団体協議会

会 長	八 田 富 夫
副 会 長	乗 藤 慎 吾
“	大 森 文 太 郎
常 務 理 事	梶 英 正

〒703-8282 岡山市中区平井 1097
電話 086-276-8585
FAX 086-276-9081